



山形県職員 公務研究 セミナー

令和6年1月11日

(保健師職)



山形県職員 公務研究セミナ一 (保健師職)

1

令和6年1月11日



自己紹介

村山総合支庁保健福祉環境部
（村山保健所）保健企画課
精神保健福祉担当 保健師

＜入庁後の経歴＞

令和4年 入庁

村山保健所 精神保健福祉担当



山形で活躍する保健師の姿

山形県の保健師が働いている場所

最上保健所（新庄市）

庄内保健所
（三川町）

保健所
（4か所）

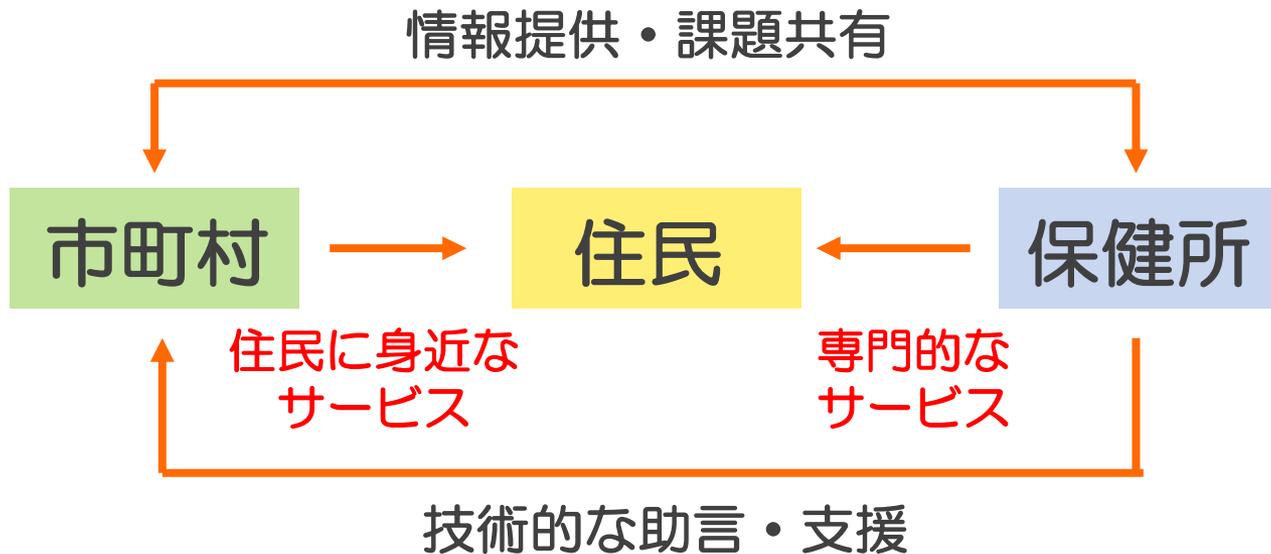
保健所以外

- 県庁
- 総合支庁
- 精神保健福祉センター
- 児童相談所
- 障がい児入所施設 等

村山保健所（山形市）

置賜保健所
（米沢市）

保健所と市町村保健師の役割の違い



- 住民の身近な健康問題への取り組み
- 地域のケアシステム構築

- 広域的な健康課題の把握とその解決への取り組み
- 広域的・専門的な保健サービス等の提供
- 地域の健康情報の収集・分析・提供

保健所で働く保健師

業務担当制で担当ごとに分かれて仕事を
しています

- 感染症担当
- 精神保健福祉担当
- 保健支援担当（母子・難病）
- 健康増進担当
- 企画調整担当



私の担当している業務

精神保健福祉担当

○自殺対策事業に関すること

- 自殺対策に関する会議、研修会の実施
- 心の健康に関する相談窓口の普及啓発

○精神保健福祉の相談・訪問に関すること

- 随時の電話相談対応
- 主治医指示等による訪問支援
- 担当ケースのケア会議等への参加



私の仕事の日

- 8 : 30 業務開始（メール確認、その日の予定確認など）
- 8 : 50 前日までの記録作成
- 10 : 00 研修会の資料作成
- 12 : 00 お昼休憩
- 13 : 00 関係機関への連絡や電話対応など
- 14 : 15 保健所出発
- 15 : 00 患者宅へ訪問（市の保健師と同行訪問）
- 15 : 50 訪問終了
- 16 : 30 帰所、上司に報告 記録作成
- 17 : 15 業務終了



印象に残っている業務

- 患者さん、家族との出会い
- 研修会の企画、運営



自殺対策事業 普及啓発活動の様子



自己紹介

最上総合支庁保健福祉環境部
(最上保健所) 保健企画課 保健師

＜入庁後の経歴＞
令和3年～ 最上保健所

精神保健福祉・難病担当の仕事

《精神》

- ・ 地域住民のこころの健康に関すること
⇒電話及び来所相談への対応、精神科医師や公認心理師による相談の実施。
- ・ 精神障がい者への支援に関すること
- ・ ひきこもり支援対策、自殺対策等に関すること
⇒支援者研修会の開催、普及啓発等

《難病》

- ・ 国が定めた指定難病に係る特定医療費（医療費の助成）の申請受付
- ・ 在宅重症難病患者及び家族への療養支援

私の担当している業務

- ◎ **地域住民のこころの健康づくりに関すること**
 - ・ 電話や来所による相談対応
 - ・ 精神科医師や公認心理師の定期相談の開催
- ◎ **ひきこもり対策事業に関すること**
 - ・ 支援者対象の研修会の開催
- ◎ **在宅重症難病患者及び家族への療養支援**
 - ・ 人工呼吸器装着やALS患者等の在宅療養者への訪問

私の仕事の1日

- 8 : 3 0 業務開始
(メールの確認、今日の業務の確認)
- 9 : 0 0 電話対応
前日の訪問記録等の作成
- 1 1 : 0 0 定期相談の準備
- 1 2 : 0 0 お昼休憩
- 1 3 : 0 0 定期相談
- 1 6 : 0 0 相談終了、業務報告書作成
- 1 7 : 1 5 業務終了



印象に残っている業務

○当事者との出会い

○研修会の企画、運営

○新型コロナウイルス感染症の対応

県保健師の仕事の魅力

最上保健所ランチ
ミーティングより

- ◎ 広域的で専門的な保健サービス
 - ⇒ 関係機関や人々のつながりから、地域の健康づくり推進に向けた事業の企画運営ができる。
 - ⇒ 専門的な知識や技術を学べる環境がある。
 - また担当業務以外でも保健師同士の情報交換会にて学びを得ることができる。

- ◎ 保健師活動を通して、自分の人生の糧にできる。
 - ⇒ 第一線で活躍されている方のお話が聞ける。
 - ⇒ 当事者や家族との出会い

ワーク・ライフ・バランス

最上保健所ランチ
ミーティングより

◎ 1か所に留まるのではなく、
勤務地が複数ある。

- ・ 周囲の環境が変わり刺激になる
- ・ 異動先での出会い



◎ 夜勤がなく暦通
りの勤務。年休を
取得しやすい。



◎ 結婚・育児

- ・ 女性が多く、
柔軟い職場
- ・ 子育てに理解が
あり、産休や育休
を取りやすい。

県保健師は、異動により勤務地が変わったり、保健所以外の職場に勤務することもあり、様々な出会いや仕事を通して、自分自身が成長できる場所です。

本日、説明を聞いて県職員の仕事のことを少しでも知ってもらえたとしたら嬉しいです！

ぜひ私たちと一緒に働きましょう！

山形県では人材育成ガイドラインが作成されています。

各保健所では保健師同士が情報交換する時間やプリセプターとの勉強会が設けられており、キャリアラダーに応じた必要な能力の習得ができるよう取り組まれています。

